

# 2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会案内

2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会を下記のとおり開催致します。

## 開催概要

開催場所：武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス（横浜市港北ニュータウン内）

開催日程：2006 年 9 月 2 日（土）～3 日（日）

### ◆2006 年 9 月 2 日（土）

開会式	9：30～9：45（受付 9：00～）
研究発表会（1 日目）	10：00～12：10
ポスターセッション	12：20～13：10
シンポジウム	13：15～17：30
テーマ：『景観法』の時代における環境アセスメント	
懇親会	18：00～20：00（受付 17：30～）

### ◆2006 年 9 月 3 日（日）

研究発表会（2 日目）	9：30～12：00（受付 9：00～）
-------------	----------------------

## 参加方法

5 ページの「2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、「2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会事務局」までご送付下さい。締め切りは **2006 年 8 月 31 日（木）** です。当日参加も可能です。大会参加費は当日大会受付にてお支払い下さい。

## 参加費

大会参加費：正会員・公益会員・賛助会員 4 千円、学生会員・協力会員 3 千円、会員外 6 千円

2006 年度研究発表会要旨集代：2 千円（大会参加費には含まれておりません）

懇親会費：4 千円

\* 第 5 回大会に先立ち 9 月 1 日（金）に開催される「日韓合同国際シンポジウム」については、「日韓合同国際シンポジウム開催案内」をご覧ください。

## ポスター展示

2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会において、環境アセスメントに関するポスター展示を催します。日頃から、環境アセスメントに関わりのある約 20 の企業、NPO、行政等の団体の方々による環境アセスメントに関する研究・事例の展示、紹介が行なわれます。充実した意見交換の場となるよう、多数の方々のご参加をお待ちしております。

## 展示期間

ポスター展示期間およびポスターセッションの日時は、以下の表のとおりです。

日付	内容	9：00	10：00	11：00	12：00	13：00	14：00	15：00	16：00	17：00
2006 年 9 月 1 日（金）	ポスター展示					9：30～17：00				
2006 年 9 月 2 日（土）	ポスター展示					9：30～17：00				
	ポスターセッション						12：20～13：10			
2006 年 9 月 3 日（日）	ポスター展示			9：30～12：00						

## 展示会場

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス 4 号館 2 階学生ホール（カフェ）

## 参加方法

事前申込および参加費は必要ありません。どなたでもご参加できます。

## ポスターセッションについて

ポスター展示期間中に、ポスター展示団体との活発な意見交換を行うセッションの時間を設けます。この機会に、環境アセスメントに関わるの方々との幅広い意見交換や、環境アセスメントに関する知識や技術の共有を行なっていただければと存じます。

ポスターセッションの日時：9 月 2 日（土）12：20～13：10



ブースイメージ

## 研究発表会

2006 年度研究発表会を、下記の要領で開催致します。

### 研究発表会 1 日目 2006 年 9 月 2 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 10

第 1 会場 セッション 1 「自然環境」 座長：畠瀬 頼子

1	10:00~10:20	HSI モデルの簡略化による HEP を用いたミティゲーション評価 吉沢麻衣子 (日本ミクニヤ株式会社) 鈴木至郎 (株式会社山梨県環境科学検査センター)
2	10:20~10:40	日本における HEP の実施事例および HSI モデルの蓄積状況に関する研究 久喜伸晃 (株式会社建設技術研究所) 田中章 (武蔵工業大学)
3	10:40~11:00	ベッコウトンボの HSI モデル構築とその適用可能性 阿部茂晴、前田恭伸 (静岡大学大学院) 静岡県立磐田南高等学校生物部
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	HSI モデルを用いた沿岸域生態系の環境影響評価 - 国内環境アセスメントへの HEP 適用ケーススタディ - 杉山智治、奥田耕司、来崎良輝、後藤伸一、佐藤光昭、八木勇次郎、吉沢清晴、矢代幸太郎 (社団法人日本環境アセスメント協会)
5	11:30~11:50	複数種の SI モデルを用いた環境評価に関する提案 伊東英幸 (日本大学) 藤原真也 (株式会社 CBM) 福田敦 (日本大学)
6	11:50~12:10	複数種を対象とした HEP による環境影響評価方法の研究 - 里山生態系を対象としたケーススタディ - 横田樹広、伴武彦、上杉章雄、栗原彰子、中野雅美、松岡明彦 (社団法人日本環境アセスメント協会)

第 2 会場 セッション 2 「情報・システム」 座長：青山 貞一

1	10:00~10:20	HEP で使用する数式の導出と利用法 青島正和 (大成建設株式会社)
2	10:20~10:40	クラスター分析による自動環境類型区分とそのエコアップへの利用 青島正和、藤原靖、大川原良次、屋脊下亮 (大成建設株式会社)
3	10:40~11:00	生物生息空間モデルによる樹林・水辺空間の生態的価値の評価 大井和之、大場崇臣、井上英彦、中嶋雅孝 (財団法人九州環境管理協会)
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	「NACS-J 戦略的保全地域情報システム (SISPA)」の構築と活用 朱宮文晴 (財団法人日本自然保護協会) 古橋大地 (有限会社マップコンシェルジュ) 吉田正人 (江戸川大学)
5	11:30~11:50	1 arc second SRTM DEM による環境解析の可能性 沢野伸浩 (星稜女子短期大学)
6	11:50~12:10	土壌・生物インベントリー情報の環境アセスメントへの活用 大倉利明 (独立行政法人農業環境技術研究所) 浦郷昭子 (アイ・シー・ネット株式会社) 浜田竜之介 (東京農工大学)

第 3 会場 セッション 3 「国際」 座長：林 希一郎

1	10:00~10:20	韓国の事前環境側面検討制度に関する事例研究 羅勝元 (岡山理科大学大学院) 成炫賛 (京畿開発研究院) 宋栄一 (韓国環境政策評価研究院) 井上堅太郎、泉俊弘 (岡山理科大学) 待井健仁 (岡山理科大学大学院)
2	10:20~10:40	ロシア・サハリン 石油・天然ガス開発事業を事例にした環境アセスメントの課題 神崎尚美、村上正子 (国際環境 NGO FoE Japan)
3	10:40~11:00	ドイツにおける環境アセスメントの取り組み - ヘッセン州とバイエルン州の連邦道路事業に着目して 室田昌子 (武蔵工業大学)
	11:00~11:10	休憩
4	11:10~11:30	米国マティリハダム撤去における HEP 適用事例の分析 中屋紀子 (武蔵工業大学大学院) 田中章 (武蔵工業大学)
5	11:30~11:50	米国の環境アセスメントにおける代替案評価の予備的検討 - ニュージャージー州を事例として - 村山武彦 (早稲田大学)
6	11:50~12:10	国際協力銀行の戦略的環境アセスメント - 「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」を中心に - 斐潤 (慶應義塾大学大学院)

\*表中の、名前に が付いている方が発表者です。なお、研究発表会プログラムは、一部変更になる可能性があります。ご了承ください。

## 研究発表会 2 日目 2006 年 9 月 3 日 (日) 9:30~12:00

### 第 1 会場 セッション 4 「自然環境」 座長：矢持 進

1	9:30~9:50	干潟域における水鳥類の調査頻度と出現状況との関係 - 中城湾泡瀬地区公有水面埋立事業における事例 - 成瀬英治、阿野貴史、與那覇健次 (内閣府沖縄総合事務局)、高橋由浩 (前 財団法人港湾空間高度化環境研究センター)、 青木博、細谷誠一 (いであ株式会社)
2	9:50~10:10	人工干潟における環境再生・創出技術について 市村康、小泉知義 (日本ミクニヤ株式会社)、木村賢史 (東海大学海洋学部海洋生物学科)、木幡邦男 (独立行政法人国立 環境研究所)
3	10:10~10:30	急傾斜地崩壊対策工事が妙音沢の水生生物に与えた影響 太田尚行、飯山洋介、吉田正人 (江戸川大学)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	ミズバショウ湿地の水質調査による維持・管理の有効性評価 亀山敬子、伊藤勝 (江戸川大学)
5	11:00~11:20	湿地に生育する絶滅危惧植物の特性と保全方法検討のための実験 (ヒメハッカを例として) 坂坂亜希子、伴武彦 (株式会社ポリテック・エイディディ)
6	11:20~11:40	当間地域における大規模ビオトープ造成後の水生生物相の変遷と特徴区分の試み 菱川修一 (東電環境エンジニアリング株式会社)、荒川茂樹 (東京電力株式会社環境部)、北原宏一 (東電環境エンジニア リング株式会社)、櫻井良樹 (株式会社当間高原リゾート)、小堀達、島田久子 (三洋テクノマリン株式会社)
7	11:40~12:00	典型性注目種等の選定における客観性の確保に向けた試み (第二報) 香川裕之、高橋卓、西土井誠、平泉秀樹、松井宏之 (社団法人日本環境アセスメント協会)

### 第 2 会場 セッション 5 「制度・政策」 座長：柳 憲一郎

1	9:30~9:50	自治体における戦略的環境アセスメント導入の新たな動き 原科幸彦、杉本卓也、清水谷卓 (東京工業大学)
2	9:50~10:10	自治体アセスの方法書 (調査計画書) 手続きの有用性に関する研究 中林純、内原英理子 (株式会社日建設計)
3	10:10~10:30	環境影響評価条例における事後調査の制度および運用状況 細川岳洋、滝口善博 (アジア航測株式会社)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	環境影響評価書の貸出・複写・ホームページ全文公開に係る著作権の整理とその実施効果について 渡辺学 (北九州市環境局環境保全課)
5	11:00~11:20	我が国の環境アセスメントにおける複数案の比較検討の状況と課題 持木克之 (埼玉県)
6	11:20~11:40	地方条例の普及を前提とした新しい環境影響評価制度の構想 倉阪秀史 (千葉大学)
7	11:40~12:00	水産基盤整備が地域の漁業生産と自然環境に及ぼす影響についての政策評価 (伊勢湾の小型底曳網漁業を例として) 中村義治 (独立行政法人水産総合研究センター 水産工学研究所)、関根幹男 (株式会社フィスコ)、藤田弘一、丸山拓也 (三重県科学技術振興センター水産研究部)、船越茂雄 (愛知県水産試験場)、深町孝子 (株式会社フィスコ)、中西敬 (総 合科学株式会社)

### 第 3 会場 セッション 6 「生活環境・景観」 座長：塩田 正純

1	9:30~9:50	高レベル放射性廃棄物地層処分事業の概要調査地区選定段階における環境配慮の一考察 高橋美昭、北山一美、竹内光男、稲継成文 (原子力発電環境整備機構)、嘉代東一、石橋陽一郎、石黒純一 (日本エヌ・ ユー・エス株式会社)
2	9:50~10:10	ヒートアイランド現象の現状と環境アセスメントにおける熱環境評価に関する検討 升井幸男、泉伸司 (いであ株式会社)
3	10:10~10:30	漏洩高温加圧混合炭化水素のフラッシュ率及び気化ガス拡散の系統的推算法に関する一提案 伊藤勝 (江戸川大学)、積田雄一郎 (元 江戸川大学)
	10:30~10:40	休憩
4	10:40~11:00	山間地における大気拡散モデルによる現況再現性の比較検証 鷹取敦 (株式会社環境総合研究所)
5	11:00~11:20	電車内騒音の調査及び評価の方法論に関する一考察 吉田慎吾、伊藤勝 (江戸川大学)
6	11:20~11:40	感性工学手法による海岸景観評価について 市村康 (日本ミクニヤ株式会社)、松原雄平 (鳥取大学)

---

## シンポジウム「『景観法』の時代における環境アセスメント」

---

2004年、景観法が制定され、街づくりなどにおいて景観が重視される時代になった。環境アセスメントにおいては、現在のところ景観は極めて限定した扱いしかされていないが、今後、アセスメント制度においても景観を意識した取り組みが益々重要になってくる。そこで、都市や自然地域における景観の意義や景観の価値の捉え方についてお聞きするとともに、環境アセスメントの取り組みの中でいかに景観を扱っていくべきか、今後を展望する。

### 日時と会場

2006年9月2日(土) 13:15~17:30

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス3号館1階31A教室

### プログラム

- |   |             |
|---|-------------|
| ・開会   | 13:15       |
| 1. 景観法のねらいと環境アセスメント制度<br>浅野直人(福岡大学法学部教授)  | 13:15~13:55 |
| 2. 都市における景観保全<br>西村幸夫(東京大学大学院工学系研究科教授)  | 13:55~14:35 |
| 3. 自然景観の評価と保全<br>熊谷洋一(東京農業大学地域環境科学部教授)  | 14:35~15:15 |
| 4. 景観の価値と合意形成<br>桑子敏雄(東京工業大学大学院社会理工学研究科教授)  | 15:15~15:55 |
| 休憩  |             |
| 5. パネルディスカッション<br>「『景観法』の時代における環境アセスメント」<br>コーディネーター:浅野直人<br>パネリスト:西村幸夫、熊谷洋一、桑子敏雄<br>*会場とのやりとりを含めてのディスカッション | 16:10~17:30 |
| ・閉会   | 17:30       |

### 参加方法

事前申込みの必要はありません。どなたでもご参加できます。

### 参加費

シンポジウム参加費:無料

シンポジウム資料代:会員500円、会員外千円

\*シンポジウム資料は2006年度研究発表会要旨集に含まれております

---

## 懇親会

---

2006年度環境アセスメント学会第5回大会に参加していただいた方々同士の交流の場として、下記の通り懇親会を催します。皆様、奮ってご参加下さい。

### 日時と会場

2006年9月2日(土) 18:00~20:00(受付17:30~)

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス4号館2階学生ホール(カフェ)

### 参加方法

5ページの「2006年度環境アセスメント学会第5回大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、「2006年度環境アセスメント学会第5回大会事務局」までご送付下さい。締め切りは**2006年8月31日(木)**です。当日参加も可能です。懇親会費は、大会参加受付時に大会参加費と一緒に支払い下さい。

### 懇親会費

4千円(会員、会員外ともに)

# 2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会参加申込書

大会事務局記入欄
----------

申し込み年月日		年	月	日
ふりがな 氏 名				
会員種別 (いづれかを 囲んで下さい)	正会員・公益会員・賛助会員・学生会員・協力会員・会員外			
自宅 連絡先	〒  TEL: FAX:			
勤務先又は 所属団体 連絡先	〒  TEL: FAX:			
E-mail				
費用 (該当箇所を 付けて下さい。)	大会参加費	正会員・公益会員・賛助会員		4,000 円
		学生会員・協力会員		3,000 円
		会員外		6,000 円
	2006 年度研究発表会要旨集代 (上記、大会参加費に要旨集代は含まれません。)			2,000 円
	懇親会費			4,000 円
<b>合計</b> (合計金額をお書き下さい)				円

注1:「大会参加費」とは、9月2日(土)及び9月3日(日)の2006年度環境アセスメント学会第5回大会の参加費のことです。  
 注2:9月1日(金)に開催される日韓合同国際シンポジウムに参加をご希望の方は、この参加申込書ではなく、「日韓合同国際シンポジウム開催案内」をご参照下さい。  
 注3:上記費用はすべて、当日受付でお支払い下さい。  
 注4:申し込まれてからのキャンセルはご遠慮下さい。

必要事項をご記入の上、下記宛に E-mail、FAX 又は郵便でお送り下さい。

申込締め切りは **2006 年 8 月 31 日 (木)** です。当日参加も可能です。

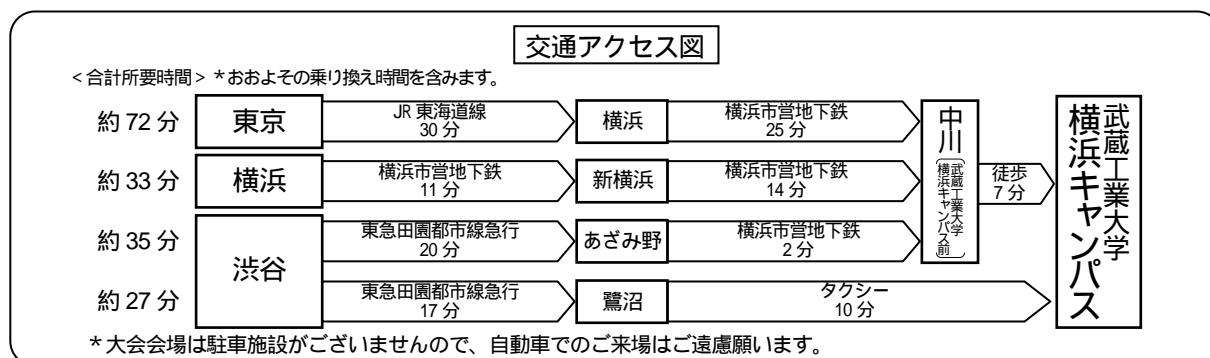
この大会参加申込書は環境アセスメント学会ホームページ (<http://www.jsia.net/>) からダウンロードできます。

**2006 年度環境アセスメント学会第 5 回大会事務局** (担当: 佐藤勸才)  
 〒224-0015 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 武蔵工業大学環境情報学部田中章研究室  
 TEL: 045-910-2928 FAX: 045-910-2929 E-mail: jsia2006@yc.musashi-tech.ac.jp

\* 第 5 回大会に先立ち 9 月 1 日 (金) に開催される「日韓合同国際シンポジウム」については、「日韓合同国際シンポジウム開催案内」をご覧ください。

## 大会会場までのアクセスおよび周辺地図

### 武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスへの交通アクセス



#### 東京駅からの場合

東京駅から JR 東海道線（熱海方面行）に乗り\*、横浜駅で下車〔所要時間 30 分〕。横浜駅から横浜市営地下鉄（あざみ野行）に乗り換えて、中川駅で下車〔所要時間 25 分〕。中川駅から徒歩で武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスへ〔所要時間 7 分〕。

【合計所要時間約 72 分。片道 770 円。】

\* JR 横須賀線（久里浜方面行） JR 京浜東北線（大船方面行）をご利用になっても横浜へ行けます。

#### 横浜駅からの場合

横浜駅から横浜市営地下鉄（あざみ野行）に乗り、中川駅で下車〔所要時間 25 分〕。中川駅から徒歩で武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスへ〔所要時間 7 分〕。

【合計所要時間約 33 分。片道 320 円。】

#### 渋谷駅からの場合

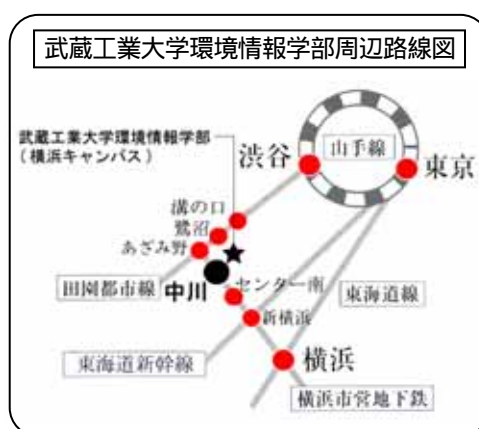
渋谷駅から東急田園都市線（中央林間行、長津田行）に乗り、あざみ野駅で下車\*〔所要時間、急行 20 分〕。あざみ野駅から横浜市営地下鉄（湘南台方面行）に乗り換えて、中川駅で下車〔所要時間 2 分〕。中川駅から徒歩で武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスへ〔所要時間 7 分〕。

【合計所要時間約 35 分。片道 440 円。】

\* あざみ野駅の二つ手前の鷺沼駅で下車し、タクシーで武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスへ向かいますと、約 10 分の時間短縮が可能です。  
【合計所要時間約 27 分。片道約 1,200 円。ただし、道路の混雑状況による。】

#### 中川駅から大会会場への経路

「出口 1（駅前広場）」から外へ出て、前方斜め左手の橋架へつながる小さな階段を上って左に進みますと、右手にセントラルフィットネスクラブの建物があります。その角を右折し 50m ほど下り坂を直進しますと、スーパー「ユータカラヤ」があります。さらに進み、左手にある道路を横断する橋架を渡り、右折し直進しますと、右手に武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスがあります。



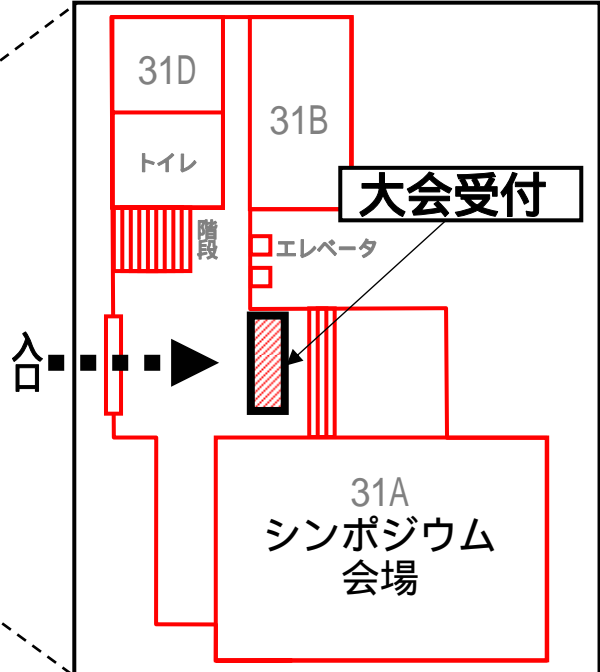
## 大会受付場所

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパスに着いたら、正門からみて正面にある一番大きな建物が大会会場（3号館）です。その建物の、向かって右側の入口（自動ドア）から入りますと、正面が大会受付となっております。

武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス内地図



大会受付位置図（拡大図）



大会会場：武蔵工業大学環境情報学部横浜キャンパス  
〒224-0015 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1

## 最寄りホテル一覧

会場付近（横浜市営地下鉄及び東急田園都市線沿線）にある宿泊費 5 千～6 千円程度の、LAN を完備しているホテルをピックアップ致しました。学会では斡旋致しませんので、ご予約は各自においてお願い申し上げます。

ホテル名	最寄り駅(ホテルまでの時間)	住所	電話番号
<b>横浜市営地下鉄沿線</b>			
HOTEL ATLAS	センター南(徒歩 5 分)	〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 36-6	045-949-0123
新横浜グレイスホテル	新横浜(徒歩 1 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-6-15	045-474-9520
R&B ホテル新横浜	新横浜(徒歩 1 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-15-20	045-478-1717
新横浜国際ホテル	新横浜(徒歩 3 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-18-1	045-473-1311
新横浜フジビューホテル	新横浜(徒歩 3 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-3-1	045-473-0021
マルコーイン・新横浜	新横浜(徒歩 3 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-13-1	045-471-0505
東横イン新横浜駅前新館	新横浜(徒歩 4 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-14	045-470-1045
東横イン新横浜駅前本館	新横浜(徒歩 4 分)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-12	045-474-1045
<b>東急田園都市線沿線</b>			
ホテルメッツ溝ノ口	溝ノ口(徒歩 0 分)	〒213-0001 川崎市高津区溝ノ口 1-1-5	044-862-0011
ホテル KSP	溝ノ口(バス 5 分、徒歩 12 分)	〒213-0012 川崎市高津区板戸 3-2-1	044-819-2211